

国宝指定15周年記念

中空土偶「カックウ」に
とてもそっくりな、
あの「まっくう」が
東京都町田市から、
南茅部に来るんです！
カックウとまっくうのこと。
沢山のかたに知って欲しい!!

令和4年度
函館市縄文文化交流センター 企画展

カックウ

と



まっくう

2022
9.27 火 - 10.30 日

開館時間 9:00 - 17:00

休館日 月曜日/9月30日(金)・10月28日(金)

入館料 一般300円/学生150円/未就学児無料



函館市縄文文化交流センター
HAKODATE JOMON CULTURE CENTER

〒041-1613 北海道函館市白尻町551番地1
TEL 0138-25-2030 FAX 0138-25-2033 <http://www.hjcc.jp/>



令和4年度

国宝指定15周年記念

函館市縄文文化交流センター 企画展

カックウ と まっくう

北海道唯一の国宝「土偶」。中が空洞になっているため、中空土偶とも呼ばれています。また、南茅部の中空土偶ということで「茅」と「空」の字を合わせた「茅空(カックウ)」という愛称もつけられています。カックウは今年、国宝に指定されてから15年になります。

本企画展では国宝指定15周年を記念し、カックウの発見からこれまでのストーリー紹介やカックウの顔と非常に似ている中空土偶頭部(愛称:まっくう)の展示やカックウの仲間とも言える資料等を紹介いたします。



町田市指定有形文化財
中空土偶頭部(まっくう)
田畑東遺跡(町田市)



国宝 土偶(カックウ)
著保内野遺跡(函館市)

北海道初にして唯一の国宝「土偶」

国宝「土偶」は、1975年(昭和50年)、函館市(旧南茅部町)尾札部町の著保内野遺跡から発見されました。1979年(昭和54年)に重要文化財、2007年(平成19年)に北海道初にして唯一の国宝に指定されました。

「カックウ」の愛称が広まったのは、国宝に指定されたときに、発見者の小坂アエさんがインタビューで「カックウ、出世してよかったな」とお話ししてからのこと。

カックウは「縄文時代後期を代表する優品として、また土偶造形の到達点を示すものとして、極めて貴重」という最大級の評価を受けています。

北海道・北東北の縄文遺跡群

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は北海道南部から東北北部に位置する17の遺跡で構成されています。縄文文化のはじまりから終わりまで、一万年以上にわたり狩猟・漁労・採集を基盤とした生活が営まれていたことや、その間、ストーンサークルや周堤墓などの祭祀・儀礼の場がつけられ、複雑な精神文化が育まれていたことを今に伝える文化遺産です。

